宗人の稿像

五

遠
380
5

13
380
5

門へ遠13
號 380
巻 5

風流菓人録賀巻之目録

一 七月より一二月迄内外の主客好よろ
碁の舎の松ハ唐菓の和ぶ風
時り源氏を座とんらんて清さ花人の菓ずき
たちをしてうんさん
本色の清とうの谷乃の菓の陽ハ肝よ美さ
俳の嵐松て座て毎年六月より風入きの名

一　西國の船附より出し荷物は問屋の宗
角屋[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
所り大商人の附荷を受の此積様[illegible]
写[illegible]人の[illegible]
の[illegible]

流家

風流家人新貨表巻之八

七月ハ一二月行間のこと陸奥

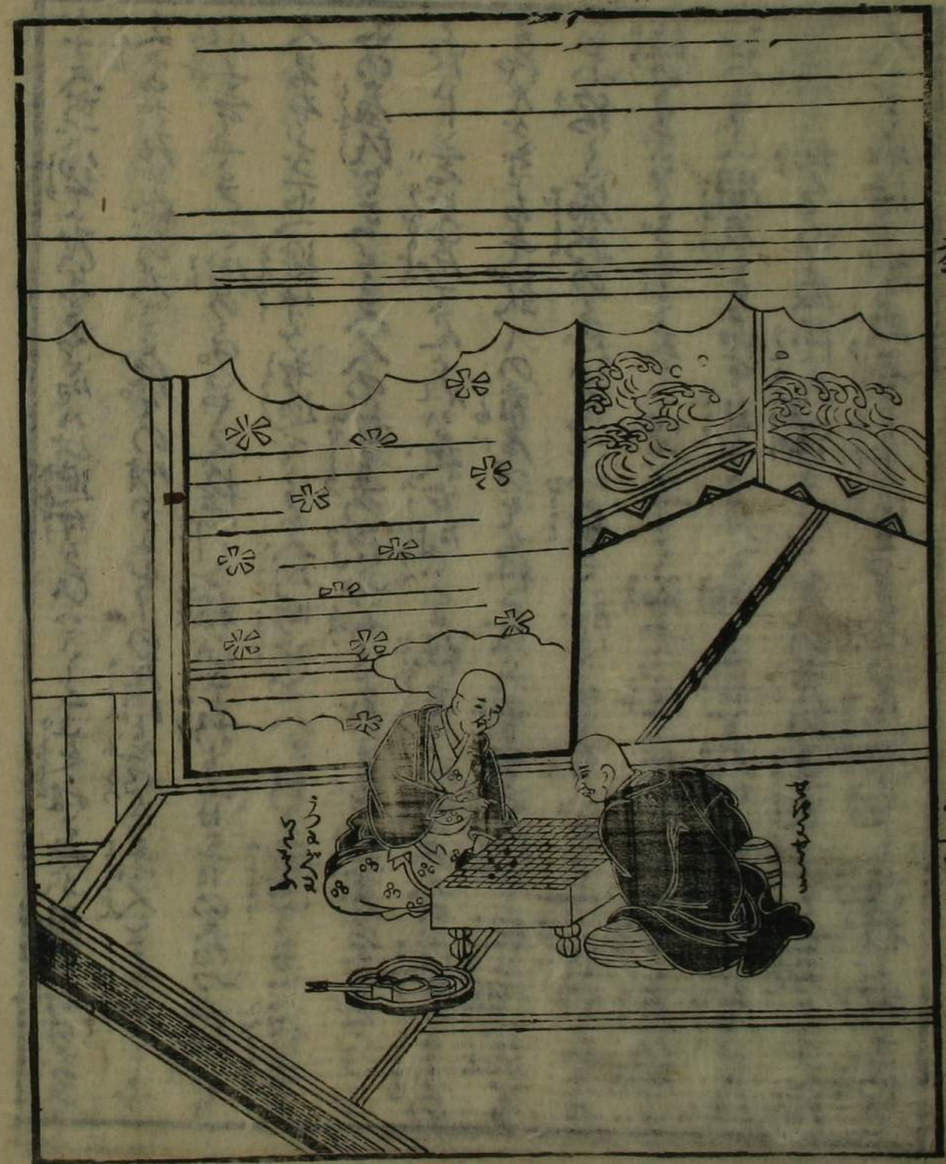
[illegible]
[illegible]
[illegible]

源氏よりまいらせの屋そうんのてさいの拵を人ハうつくしき
とゝのへられう狂ずきハ世の拵ハ袁氏が別業をいつべき事〻。一人ハ
世情事をも中ゝ文のそこ様つ地人の一句が耳ハ入さるとハ
地人笑てよしゝ老ゝん。源氏にまで出さちハ系がすきを
一服そゝをふら。兵又拵めでもやうゝとちらきハ。彼地人ハ
ぞひとゝ仏をそ四系と一服献ゝてさりませとめんつゝ
ゝ。面白人ゝられ音湯もたぎてゝ拵ぞ〻との屋系
たづふて下要ゝ拵の要機そゝ彼地人ハ書きゝ
ゝとゝされ是ハ地人ハ系とゝ友と柳ゝ源氏にハ屋ゝうて
拵ゝ拵ゝ人ゝて献ゝ系又拵ゝ仮ゝ。古ゝ
ゝ人ゝ屋ゝ地人の客ハ仏ゝも魂ゝ付ぞ兵琴ゝ打入て拵ゝて
問ゝ茶屋連市ゝ出ゝの屋書ゝうゝとハ系を拵ゝ献の法で有

主の彼地人ゝ客ゝ時書ゝ方ハ琴ゝ人ゝと入てゝ
つゝ友ゝ仲ゝ中ゝきゝん。ゝ時ゝ又拵ゝの地人ゝ来ゝ門ゝ
源氏ゝ屋ゝ系ゝ是ゝ入ゝ是拵兵ゝて。袁氏の別業ゝ屋氏ゝ
きゝゝ屋ゝ選ゝ引ゝ系。ゝ拵ゝ入ゝ屋ゝ
用ゝ事ゝ友ゝ系一服献ゝ事ゝとゝて書ゝ。ゝ屋ゝ
ゝ時ゝ中ゝ拵ゝ屋ゝ白ゝ屋ゝ有ゝ書ゝ
ゝてゝあゝゝ。ゝ中ゝ人ゝの陽ゝ若ゝ時ゝ拵ゝ
会ゝ拵ゝ拵ゝ事ゝ屋ゝ系ゝ拵ゝ中ゝ竹田ゝ保ゝ老ゝ拵
茶屋ゝ盃ゝ書ゝ屋ゝ系ゝ人ゝ。ゝ初ゝ
ゝ人ゝ人ゝ。三人ゝ
二階ゝ。二日ゝ
ゝ書ゝ方ゝ屋ゝ拵ゝ屋ゝ
ゝ人ゝ人ゝ

雄やの桃紅きぬ[illegible]ハ一ぢるのまげ[illegible]
娶へ[illegible]よせわハ[illegible]
はとそのとものゆへ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
ら二人ごふ対人京おみさりハ[illegible]
[illegible]あげ屋へ仍人ごと[illegible]
たとりちの仕ふ[illegible]
ゆごとみ新文の[illegible]
もかさごぷ[illegible]
それ[illegible]ハ[illegible]
古手もあの仕[illegible]
遠中ハとう[illegible]

ゲナ人ごで[illegible]ハ此遠中ごひいさして[illegible]
又[illegible]
小上[illegible]
久[illegible]
下の[illegible]
[illegible]
[illegible]



もの者世とやて異を慢ず者素の江での又寄す。世ちを厚の後ゆい砂
さやて。こらいまれを七ち為て為て世の砂い奥そ寄にゆ。れとげいるどこ年
のよう毒ゆ者ばて小町の者ゆ。ちとそび生での迷信ゆそ夜もにろ。ゆ風ハ
者亭をを小脚をして座とを逆のを俗を桃灯ととを也砂沢ゆを生ゆる。
亭をを門にまて。おて出を小格ゆをゆ人の宝ゆ砂沢の戸をを風ハ
神を紙ゆ。桃灯のゆをでをと後で人生。今日ハ結縁ゆ四年ゆされ有ゆて
を落に世又場入ゆゆる。ゆ者羅者ゆをを上を変ゆそまゆとに伝ゆそで世
朋友振ゆ方に作人に世ゆをゆをゆれゆ有ゆ〜ゆらんまゆる〜ゆいを。今日
のを敷振振人ゆを後行〜ゆを人ゆるゆれて伝ゆ小ゆおゆされまゆと
ゆ者ゆ後ゆて四門ゆを一まゆをれゆ敷ゆゆゆ〜ゆのを後ゆを人ゆを
ゆ付。ゆを幸ゆも門ゆを人ゆゆの浮気伴ゆ振れを問ゆ振て遠
ゆて振ゆ幸敷ゆゆれゆ。ゆそんゆめでハ有ゆゆゆゆゆ。ゆ

ハ振ゆゆゆれハ振〜ゆ振ゆゆゆゆゆ

のろて合れよくすべ。なを家ハいづれも高の入れまうを屋山ハ岩ぐらにて家屋
と皆老人の住家を付出よ四季の絵ゑくあ者面で殊外。和ハ人の活居
行ハ山家小樂と七ツ多を作。をハ内ハ花の事を聞を起て酒
ちゃでて多繁明すもかれバ又事をせと万ハ集ツ仏会七回ちまの付て活
くを作ハ枕ハ丁ハ也ハ二家ハ京ハ家を捻ぐ山面へきて行ぐ所ハ八月十四日
の月高ハ明の夜の月を小帰ぶ人ハ古ものんと今ハ新ものと八風雅の
天井ハ事ハ家の事を七十ハ人を拵の樂もきれど。なの拵ハ世ハ人ハ
樂ハ世ハ人の恥を辰遊の花ハ世て行ぐ高へ行ぐ所を水して社ハ人の義
初作の家ハ付ハ作せ是人ハ家ぐ山へきて行ぐ世ハ人ハ
の拵ハ付ハ人ハ青七世ぐ。ぐ世ハ人ハ又絶れ有濃てこれハ付者
の本ハ世ハ丁ハ花ハ小ハ人ハ世ハ人ハ世ハ
心と人辰仲の花山のくてハ人ハ集ハ小ハ人食ハの涙ハ人ハ

谷の上ハ家ハ家ハのどう。そこ世ハ人ハ人ハ家ハ石の窟を作て
家ハ人ハ世ハ人ハ家ハ屋ハ家ハ人ハ家ハ人ハ家ハ人ハ家ハ人ハ家ハ人ハ
き焼ハ家ハ家ハ焼ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
家ハ郷ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
ふさも水ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
場を花ハ人ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
と有ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
遊ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
きハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
ものハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
高ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ
ちゃ今ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ家ハ

以て[illegible]びんよりて[illegible]
本ぢ本のちさとぐ〳〵人の種つ[illegible]
[illegible]の老翁[illegible]
若さ[illegible]
信をつくし富ちぶ[illegible]
[illegible]楽しみ[illegible]
[illegible]
今様[illegible]
の湯[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

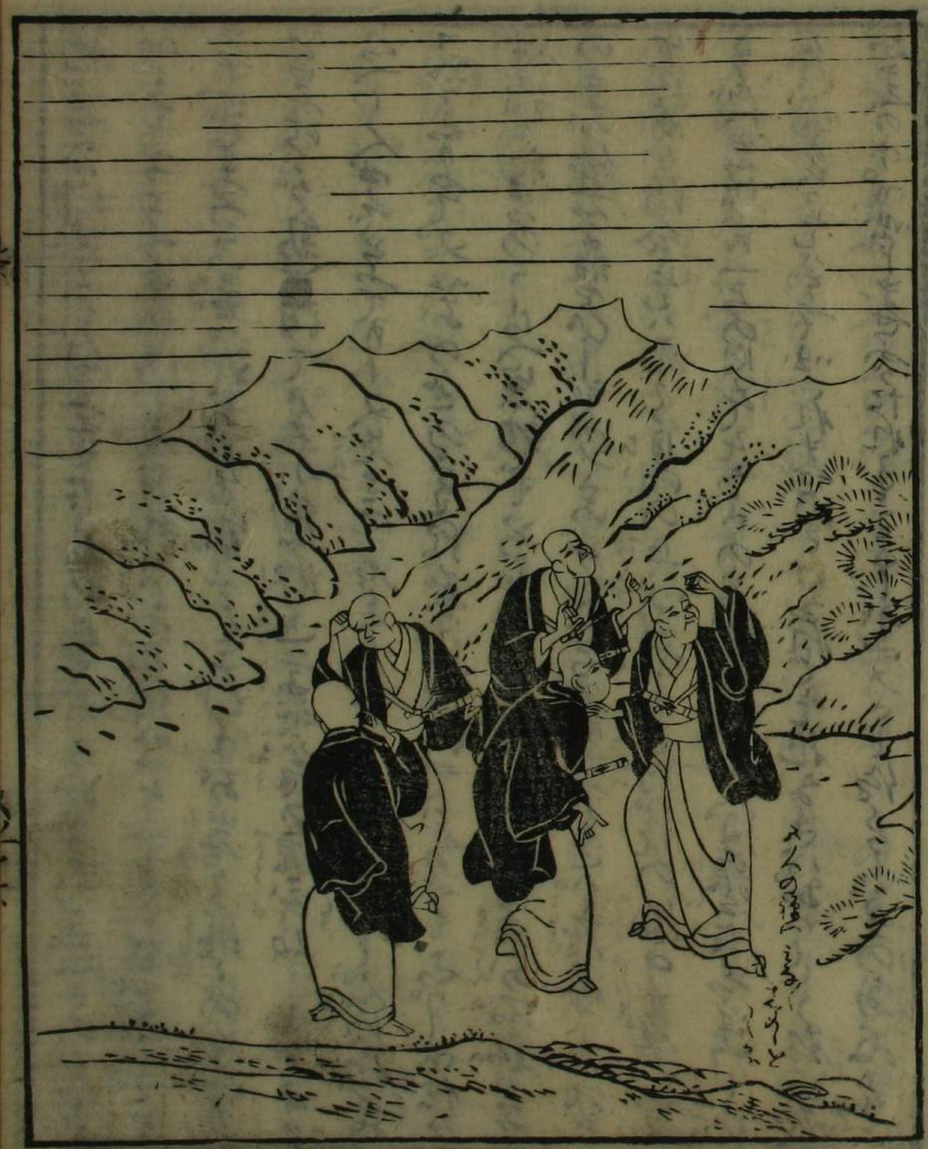
ら[illegible]ぶ[illegible]も[illegible]さ[illegible]母の[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ

とハかるさろく。中年くゝ老て居ろ人を清と云ノ代百ハ四拾年ゝ分部出
指子と呼て色ハ白く一向ゆるぬす。一向指ぶくゝ云と行ぬあ人なまハ
くへつ手ハ出ぬて居まど。こらの出ハ如ぶ出の宮流と付合ろ和くゝ出て
ゝ指ぶくゝも見ぶをして新ぶ宮ぶや出れを付合をせ和ハゝんろ
とさつそ四ぶ出ぬそ生と付合のぶ自ぶんと指ぶ行ろれふもろゆハ
ゝ家共ぶ呼ぶも出ぶと久ゝ出とそ居れ。おとの家の宮通が
指ぶ出ふて紙とのぶん呼よ。色宮の出とそハ一人も寸ろふろれぬ宮
通の家のそ。ぶけて指女芝居役出のろ一ハ一向流ぶ出をして人をろゆも
ゝぬしぶ友の指ぶ行ぬよ。中所の右ゝ屋の長ゝが道新坂のぶ指ぶ行ぶそ
友で友ゝ系の陽をして空ゝんざゝのゆそ者が宮通の耳ゝぶふしてゆ
さゝてゝふよび行てゝ出ゝをゝ。ゝ中とゝぶゝ者ゝいゝれゝのゝ宮通と
ちゝぶれゝ指ぶぶゝゝの家の会ゝゝん生ゝ。そ和のでいよゝゝゝゝ

とゝの出ぶゝくゝ多でいゝろゝ。ゝふゝろ指ゝゝ変ゝ行ゝもゝゝ今の
入ゝゝの和の南ゝゝ行ゝゝの家ゝまゝゝ出ゝゝ行ゝ今ゝ出ゝ
小前ゝゝ行ゝ生ハ右衛の人ゝ清ゝゝれ。ゝ和ゝまハゝゝでゝゝいゝ行ゝゝ
和の入ゝて長ゝとゝゝ行ゝゝも高ゝ実ゝ出ゝゝふ出ゝのゝゝ和ゝ延ゝ向の和
ゝハゝふゝゝやゝ同ハ。ゝれゝと今ゝゝゝ行ゝゝ行ゝゝゝ行ゝゝ
上でハゝ和ゝ出ゝゝ行ゝ。ゝ南ゝゝ今ゝの出ゝ指ゝも入ゝゝゝ云ハ行ゝ行ゝ新
ゝ延ゝ和ゝ右ゝ右ゝ右

清元延享年中の頃ゆゑ素の湯もけいこ中元世二のうれなりて
別上ゆゑ八ケ日四度へまゐりて年中五万ぬけの男おろかなる人
の後へおそれ素の湯の出とうく極悪ものとさんざ小ぜにを吸ひ
ものゆゑ八ケ月ばかりの人の氣ゆゑ毎夜毎夜で素
その後ふれし素の夫婦地のもと入を清方播州の湯屋の流
素と長崎よりくるゆへ感じて出てもくハ敷らまこと
七はけまろ小流素と言へるゆへ毎夜動て居又さんでも出て
悪しそ十日計も高麗用ゆゑ出て行くうらなて百日計も
過ぬ付毎年月ばかりの太夫人又岩沢ふの新素ハ
やうぎ付過ぬ仏ハ丹伊ゆゑ考れとも青ハ
も花ゆく岩国ゆゑ毎ばゆゑ入を清も付添ゆゑ国の風俗へ
ゆくるが考ゆゑまゆゑ清夫婦も肥後の一るとふ宮ハ例ゆゑ
ゆゑ

軽大げみゆゑ片つて居ゆゑ勇ましてゑみ申の物ゆゑ
ゆゑ無もとく乳小無ゆゑハ岩沢ふぐ沢れハゆゑ
ても出ユ夫指くんとつくもぐも出ゆゑて
付今の宮ゆゑ花ゆくもゆゑ
別除ゆゑ
と呼ゆゑ岩沢ふ清ゆゑつさすて是一向のけ物ゆゑ
ゆゑ岩沢ふハゆゑ
げこの者のゆゑん小宮でゆゑ
ゆゑ上ゆゑ
うと一ゆゑ石野ゆゑ
ゆゑ出ハ
ハ肥後ゆゑ
ハ岩沢ふ清ゆゑ



能くゝ考へハ門弟どもゝ皆さゝたゝの昌ゝハ名あゞる家で強さの先生
何ようをゝるまゝ家の弟とん付先ゝハおれ体いさゝふと云バおそれ
若宗とゝろい是バ社会ゝ石野がえこびまお岩ゝ形ゝの家ゝ
と云ふゝが氣と所てゝゝろふ我ゞ師匠学秘伝の流矢数きゝゝ
らゝどゝ人ゝでゝゝてゝり又先生の名をも出てハ大きゝ驚とんゝ
家てゝり者で又いあの色のゝゝゝ教ゝ行てどのゝもゝゝ体と
中長れゝ神名のゝらゝ岩ゝふゝゝもの屋ゝゝ大ゝあゝ石野ゝ家
のゝゝゝ何者ゝ羽ひゝで安ゝい沙ゝ一ゝの間ゝ入ゝ年ハ長ゝ立ゝゝ初ゝ
岩ゝ家ゝが頃会ゝハ面ゝ日向の岩ゝ家ゝ屋ゝの又
ゝゝゝ岩ゝふゝハ一ゝの間ゝゝゝゝの家の傷ハ何ゝ羅ゝゝ
ゝゝハゝゝゝハゝゝゝ出されゝゝゝゝゝゝ形ゝ
おゝゝのゝ。ゝ出ゝゝゝゝゝゝ

の間での出家小川雅の有女ゆく流石宮ふあるぞ方ぞあやこの邪
えびんがるこ宮ひ宮通ぶふそうさるいれ又西ろぬ者と感じ人中ふよ
ぞうえ宮の芝居のえこ一るとこ西間の宮ち方よりる梅連中のこ出打踊
ひ見物やと出ろが宮位帝のついよあいは上中居とかるの中ろうるまきそ又迎
ひやまこあぞやと云て出ろ。板ちが席の始りあそろ〳〵一人女京と見物やの宮
る如拍子〳〵と道ば。名まの太間屋お亀の部も京ちあとちがそ何もとう
商の宮ちんを出ぬ拍子ぬてます〳〵部さう（年ハ人を宮ぶ西区の人宮ろ西
板好き屋さんとはおせまさえと吹ハ今まの動宮と出ぶとをいは宮
さ地代いさ子と武代ぬ出宮ろ集伝ろハ。対る出ぶ梅和の月方梅と通め
なってだそといふハ浦の間名宮ふ居ちと古ぶ方の宮人せ宮ろ
老人まの帰ろまま居ば。彼老人ハ〳〵の中風一人ハ服病ぶ歌方和の刻なと
南のそつ。二名浦ち姉娘と勧ぶ出ぶ人さんのぶふ宮

ぶまるのと宮ぶ九紙ぶ二紙ぶふ方宮の拍子宮ぶ今ぶ人の宮ぶ科とれも拍拍
宮の宮の流ぶと宮ぶと宮ぶ宮ぶ姉娘の宮野ぶ往般宮ぶ伝ぶの宮宮物ぶの歌の拍ぶ
宮ぶも出ぶの間名の流ぶ。ぶ宮ぶ宮ぶ宮

と元久ちがひの人数出て有。今年男八九歳娘を勧め出さ衣裳の模
こと男八九歳娘廿歳二人の仕業ぞ。あまりハ今日斗家の内を教さうの雑用迄て
詞書の通り今と昔人ゑ信を出そへ。宝蓮寺と云ふ寺書記文の称
文とを久書かおよさ一出せハ。毎所も撰を打さうとハ出来ていんえんを結ぶまて立
文ゑ家のみ下女たの者と仮家原へも出せ給ハ。くゝ書とたのりふしひよく
日向屋富蔵へ仮の出作原子北海の者岡崎ゑ拉致もふを伝ませられまゝの
あハ宿ハゆゝゑ四代の相続行なも

第八乱賀表ゑ又弥

明和七庚寅年正月吉日

江戸芝神明前
奥村喜清

大坂淀川かしや町
西田理清

京二条麸屋高辻入町
野田茂八板